拝啓 ○○の候　貴社ますますご隆昌のこととお喜び申し上げます。

　さて、この度は○○美術展覧会に入選されました由、おめでとうござい

ます。○○様の喜びに満ちたお姿が目に浮かぶようです。

　御社におかれましては取締役という多忙な日々のなかで、これだけのこ

とを成し遂げられたことは感に堪えません。長い間の精進が実って、今日

の栄冠を得られたのだと思うと、胸に迫るものがあります。普段から何気

無い言葉の端に、あるいは動作に、常に新鮮ななにかを感じさせられるこ

とが多かったことを思いますと、単に努力のみならず、それなりの天賦の

才をお持ちだったのでございましょう。それを無にせず昇華なさいました

ことを素晴らしく存じます。

これからも、ますます勉強されて、よい作品をたくさん創造なさいます

ことを楽しみにしております。ご苦労も多いとは思いますが、どうかお身

体ご自愛下さい。心から応援しております。

右、略儀ながら書面を持ちまして御祝申上げます。

　　　　　　　敬具

○○○○年○○月○○日

株式会社　○○

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　代表取締役社長　○○　○○